

第3次ながおかヘルシープラン21計画書 修正前後一覧

資料 1

章	頁	追記・修正理由	追記・修正前	追記・修正後
目次		目次追加		<ul style="list-style-type: none"> ・第3章長岡市の健康状況に「4 歯・口腔の状況」を追加 ・第10章計画の推進体制に「3 基本目標の評価について」を追加
第1章	2	図の修正		「3 計画の位置付け」の体系図を変更
第3章	25	表の修正	表1 各地区の人口状況 地区、人口、男性、女性、世帯数、高齢化率、1号認定数、65歳以上人口、要介護認定率、一人暮らし高齢者数、高齢者のみの世帯数、出生数、出生率 を記載	1号認定数及び高齢者のみの世帯数を項目から削除。
	30	令和4年度数値を追記	図11 特定健診受診率の推移 令和3年までのデータのグラフ	令和4年の長岡市と新潟県のデータを追加し、それに合わせた文章に変更
	31	令和4年度数値を追記	図13 特定保健指導実施率の推移 令和3年までのデータのグラフ	令和4年の長岡市と新潟県のデータを追加し、それに合わせた文章に変更
	32	出典の変更	図14 メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況 出典「特定健診等データ管理システム」	図14 出典「 <u>国保データベースシステム</u> 」に変更

章	頁	追記・修正理由	追記・修正前	追記・修正後
第3章	33	文章の追記		糖尿病 「・糖尿病群は動脈硬化の悪化がみられ、非糖尿病群に比べると2～4倍脳卒中を引き起こしやすくなるといわれています。また、糖尿病性腎症は、透析になるリスクもあります。」を追記。
	37	文章の構成を病態概要→データの読み取りの順に変更	<ul style="list-style-type: none"> 慢性閉塞性肺疾患（COPD）は、たばこの煙など有害物質を長期に吸入することで生じる肺の病気であり、喫煙習慣を背景に、働く世代以降に発症する生活習慣病です。令和4年の本市におけるレセプト数は、4,472件（国保被保険者千人当たり）で、国や県よりも高い状況です。（図22）男女別で見ると、男性の方が女性の2.3～2.4倍高く推移しています。（図23） 重症化すると、人工呼吸器や酸素マスクが必要となる場合があるため、予防や早期の診断・治療が重要です。 選択死因分類における慢性閉塞性肺疾患（COPD）の死亡数は男性は減少傾向、女性は横ばいで推移しています。全死因のうち0.5～1.0%を占めています。（図24） 	<ul style="list-style-type: none"> 慢性閉塞性肺疾患（COPD）は、たばこの煙など有害物質を長期に吸入することで生じる肺の病気であり、喫煙習慣を背景に、働く世代以降に発症する生活習慣病です。重症化すると、人工呼吸器や酸素マスクが必要となる場合があるため、予防や早期の診断・治療が重要です。 令和4年の本市における慢性閉塞性肺疾患（COPD）のレセプト件数は、4.5件（国保被保険者千人当たり）で、新潟県や全国よりも高い状況です（図22）。 男女別で見ると、男性の方が女性の2.3～2.4倍高く推移しています（図23）。また、死亡数は、男性は減少傾向、女性は横ばいで推移し、選択死因分類のうち0.5～1.0%を占めています（図24）。
	41	令和4年度数値を追記及び出典の変更	<p>3 がん・がん検診等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 図27 長岡市のがん検診受診率の推移 令和3年までのグラフ 出典 新潟県「にいがたの生活習慣病」 	<ul style="list-style-type: none"> 図27のグラフに令和4年度のデータを追加し、それに合わせた文章に変更。 出典を「長岡市健康増進課 がん検診実施結果」に変更。 2年受診率の注釈を追加。
	44	歯科保健の現状を追加		「4 歯・口腔の状況」を追加。

章	頁	追記・修正理由	追記・修正前	追記・修正後
第3章	47～48	データヘルス計画の数値修正に伴い、文章及び図を変更	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の総医療費は161億円で、減少傾向となっておりますが、被保険者1人当たりの医療費は287,542円で、5年前より9,594円増加しています。(図31) ・疾病分類(大分類)の医療費の推移をみると、悪性新生物が一番多くを占めています。5年間の増減が大きい疾病は、悪性新生物(3.28億円)、循環器系の疾患(△2.70億円)、神経系の疾患(△2.65億円)となっております。(図32) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市における国保被保険者の令和4年度の総医療費は189.2億円となっており、平成30年度と比較して、4.7億円の増加となっております。 ・被保険者1人当たりの医療費は333,929円で、平成30年度より35,755円増加しています(図37)。 ・疾病分類(大分類)の医療費割合をみると、悪性新生物が19.8%と一番多くを占めています。次いで、循環器系の疾患、尿路性器系の疾患の順となっております(図38)。
	49	データヘルス計画の数値修正に伴い、文章及び図を変更	本市の人工透析患者の1件当たり医療費は令和4年は437,357円となっており、概ね横ばい傾向です。	<ul style="list-style-type: none"> ・本市における国保被保険者の人工透析患者数1件当たりの医療費は、概ね横ばいとなっておりますが、患者千人当たりの透析患者数は年々増加傾向にあり、新潟県、全国よりも多くなっています(図39)。 ・患者千人当たり透析患者数(経年推移)のグラフを追加。 ・1件当たり医療費について、注釈追加。
第5章	58	図の修正	/	より分かりやすいように図を修正。
第6章	60	壮年期の詳細追記	【現状と課題】4つ目 ・主食・主菜・副菜のそろった食事を1日2回以上食べている人は約6割で、野菜を1日に2回以上食べる人は約7割で食事バランスの悪化が課題です。	・主食・主菜・副菜のそろった食事を1日2回以上食べている人は約6割で、野菜を1日に2回以上食べる人は約7割で、特に男性40歳代50歳代は3割から4割であり食事バランスの悪化が課題です。
	62	目標値の数値を整数に統一	指標「運動習慣がある人の割合」 19～39歳男性：40.5% 19～39歳女性：25.4% 40～64歳男性：39.2% 40～64歳女性：37.3%	指標「運動習慣がある人の割合」 19～39歳男性：40% 19～39歳女性：25% 40～64歳男性：39% 40～64歳女性：37%

章	頁	追記・修正理由	追記・修正前	追記・修正後
第6章	62	表現の変更	運動やスポーツを習慣的に行っていない子どもの減少	運動やスポーツを習慣的に行っているこどもの増加
	64	文章の追加		具体的施策の内容 「・こころの相談会や講座など、長岡市自殺対策計画に基づき実施していきます。」を追加。
	65	注釈の追加		目標「生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の減少」における「現状値」「市目標値」「国目標値」に、算出方法等の注釈を明記。
	66	文章の削除	・アルコールによる健康障害についての研修会や情報提供を行います。	削除
	69	目標値等の変更	目標「う蝕の予防」 指標「未処置歯を有する人の割合」 ・市目標値 20% ・国目標値 -	目標「う蝕の予防」 指標「未処置歯を有する人の割合（30、40、50、60、70、75、80歳）」 ・市目標値 ↓ ・国目標値 20%
	69	指標の追加		目標「口腔機能の維持」 指標「80歳で現在歯が20本以上の人の割合」 ・現状値 64.6% ・市目標値 ↑ ・国目標値 85% を追加。

章	頁	追記・修正理由	追記・修正前	追記・修正後
第6章	71	速報値から法定報告値に修正	特定健康診査受診率（40～74歳）36.5%（速報値）	特定健康診査受診率（40～74歳） <u>42.9%</u> （法定報告）
	73	速報値から法定報告値に修正	目標「特定保健指導の実施率の向上」 指標「特定保健指導利用率（40～74歳）」 現状値 19.4%	目標「特定保健指導の実施率の向上」 指標「特定保健指導利用率（40～74歳）」 現状値 <u>32.2%</u>
			目標「血糖コントロール不良者の減少」 指標「HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）8.0以上の割合」 現状値 1.11%	目標「血糖コントロール不良者の減少」 指標「HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）8.0以上の割合」 現状値 <u>1.0%</u>
		データの出典を長岡市健康管理システム→国保データベースシステムに変更	目標「糖尿病有病者の増加の抑制」 指標「糖尿病有病者の推計値」 現状値 13.3%	目標「糖尿病有病者の増加の抑制」 指標「糖尿病有病者の推計値」 現状値 <u>14.1%</u>
	74	データヘルス計画と表記を一致させるため、一文削除	<p>糖尿病</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の人工透析患者の他疾病有病状況は高血圧症(95.8%)、糖尿病(56.5%)、質異常症(53.7%)となっています。 ・透析患者のうち、糖尿病は半数以上を占めており、透析患者数、新規透析導入者数も増加傾向です。 ・人工透析患者数、1件当たり医療費はおおむね横ばいとなっており、患者千人当たり透析患者数は、年々増加傾向にあり、全国、県よりも多くなっている。 ・透析患者のうち、糖尿病は半数以上を占めており、透析患者数、新規透析導入者数も増加傾向です。 	<p>糖尿病</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保データベースシステムによると、令和4年度の人工透析患者の他疾病有病状況は高血圧症(95.8%)、糖尿病(56.5%)、脂質異常症(53.7%)となっています。 ・人工透析患者数、1件当たり医療費はおおむね横ばいとなっており、患者千人当たり透析患者数は年々増加傾向で、新潟県、全国よりも多くなっています。

章	頁	追記・修正理由	追記・修正前	追記・修正後
第7章	75	目標値の修正	目標「地域で共食している人の増加」 指標「食事サービス実施数」 市目標値 ↑	目標「地域で共食している人の増加」 指標「食事サービス実施数」 市目標値 ⇨
	77	現状値の修正	目標「健康づくりに取り組む市民の増加」 指標「地域コミュニティ健康づくり事業 実施回数」 現状値 204回	目標「健康づくりに取り組む市民の増加」 指標「地域コミュニティ健康づくり事業実施回数」 現状値 <u>227回</u>
			目標「健康づくりに取り組む市民の増加」 指標「地域コミュニティ健康づくり事業 参加者延人数」 現状値 4,935人	目標「健康づくりに取り組む市民の増加」 指標「地域コミュニティ健康づくり事業 参加者延人数」 現状値 <u>5,312人</u>
			目標「多世代健康づくりの推進」 指標「歩道除雪実施延長」 現状値 191.3km	目標「多世代健康づくりの推進」 指標「歩道除雪実施延長」 現状値 <u>225.2km</u>
第8章	80	関連計画の追加	/	2 青年期・壮年期の関連計画に「 <u>長岡市自殺対策計画</u> 」を追加
	81	関連計画等の追加		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 高齢者の関連計画に「<u>長岡市自殺対策計画</u>」を追加 ・ 【現状と課題】に「<u>本市の高齢者（60歳以上）の自殺は、全世代の約半数を占めます。特に女性は高齢期に多く、年代が上がるほど増加しています。</u>」を追加 ・ 【具体的施策の内容】に「<u>自殺対策計画に基づき、高齢期のこころの健康づくりを推進します。</u>」を追加

章	頁	追記・修正理由	追記・修正前	追記・修正後
第9章	83	健康日本21における健康寿命の指標の考え方を追記	第10章 3 基本目標の評価について	<p>第9章に内容を移動し、文章を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康日本21（第三次）では、健康寿命の指標を国民生活基礎調査から算出される「日常生活に制限のない期間の平均」としてしています。 ・国民生活基礎調査の対象は若年層を含んでおり、日常生活動作(ADL)から仕事・家事・学業等社会的役割までの幅広い要素を含んでいるため指標として設定されました。 ・国民生活基礎調査における「日常生活に制限のない期間の平均」については、全世代の幅広い健康状態を把握する指標として、県単位の推移を把握していきます。